



わらしべの里通信

わらしべの里 理事長交代式



退任の挨拶をする金坂直仁前理事長



就任の挨拶をする大橋誠新理事長



仲間たちから心のこもった花束のプレゼント。長い間、ありがとうございました

6月17日午後、食堂兼集会場に集まる仲間たち。黒板には「わらしべの里理事長交代式」と書かれた掲示物。参加者たちは遠くを見つめ「先週の土曜日、6月15日に理事さんが集まって、会議をやりました。その中で、金坂直仁理事長の退任と大橋誠さんの理事長就任が認められたというのを皆さんに報告する会をこれから行ないます」という金坂施設長のアナウンスを聞いていました。

退任の挨拶に立った金坂直仁前理事長は「わらしべの家は、田んぼにプレハブ小屋を建て、障がいのある人が軽作業をして1日を過ごす場所として、1980年にスタートしました。私は先頭に立ち見守ってきましたが、2019年で85歳となり、おじいさんになってしまいました。少しくたびれてしまいました。若い人にこの職を譲ろうと考え、大橋誠さんをお願いいたしました」と挨拶されました。

就任の挨拶に立った大橋誠理事長は、「わらしべの家に通う仲間にとって、より良い生産活動の場になるように、また見守りながら一緒に作業していく職員さんにとっては、いい職場になるよう力を尽くします」と挨拶。理事長を退任後、理事として運営にかかわる前理事長に「これからもよろしくお願いいたします」と頭を下げられていました。

財団法人時代から金坂前理事長をおじさんと慕い、生産活動をしてきた仲間が花束を渡し、別れを惜しみました。

(混む)



理事長交代のお知らせ

理事長退任にあたって

令和元年6月15日

理事 金坂直仁

思い起こせば今から約40年前、自宅の庭先に地域のお父さん方の協力を得ながらプレハブを1棟建てたことがスタートでした。障害の有無にかかわらず子供たちが楽しく遊べる場所を作りたいとの思いでそのプレハブに「とちぎ子どもの家」と名付け週末には近隣の子供や学生ボランティア等が集まり様々な遊びやレクリエーションを行い笑顔の絶えない日々でした。

しかし、ある時一人の子供が手に軽いやけどをしてしまったことがきっかけとなり「もっと安全で安心できる環境を作らねばならない」と現在のわらしべの家の建設に向けて動き始め、その後さまざまな人たちの協力を得て現在の施設の建設にこぎつけました。

措置の時代から契約の時代へ、また支援費制度を経て自立支援法や現在の総合支援法の時代へと時代の流れに翻弄されながらも、最初は財団法人の無認可作業所として、2001年の10月からは社会福祉法人の小規模通所授産施設として、現在は福祉的就労と軽度の介護に対応できるよう多機能型の事業所として、障がいのある仲間たちが「毎日通いたい」と思える場所であることを理念とし法人の運営に努めて参りました。

しかし、これらのことは私ども法人だけで成し遂げられるものではありません。ひとえに、ご利用者様とご家族、そして地域や関係者の皆様の施設に対するご理解とご支援があったからこそであり、ここに改めて心から感謝の意を表すところでです。本当にありがとうございました。

そして、これからは「大介護時代」と言われるように、保護者の皆さまの高齢化や通ってくれている仲間自体の高齢化、社会保障費の増大等、障害者福祉を取り巻く環境は一層厳しく、険しい道になることが予想されます。私は6月15日の任期満了をもって理事長の職を退任することになりましたが、今後理事長のひとりのとして創始の精神を忘れることなく、これからも地域とともに福祉の向上に寄与することを強く念じ社会福祉法人わらしべの里の更なる発展に努めて参ります。

最後に、今後とも当法人への皆様方の変わらぬご支援ご指導を引き続きお願い申し上げます、退任の言葉といたします。

新理事長あいさつ

理事長 大橋 誠

令和元年6月15日の理事会におきまして、金坂直仁理事長が退任され、その後任として、同日新理事長に就任させていただきました。

これまで、金坂前理事長が、長年法人経営とした福祉理念を踏まえたくえで、元号が平成から令和に変わった新たなスタートの年にあたり、新理事長として今後とも法人が利用者支援を最優先に考え、併せて地域の社会資源としての役割が果たせるように、更なる法人経営、施設サービスの向上を図ってまいります。

そのためには、法人の健全経営、利用者・保護者との情報交換を通じた利用者支援、生産活動の充実による作業工賃アップ、職員処遇の改善による安定した働く場の確保が必要と考えています。

併せて、この施設が、地域への貢献活動ができるように、周辺地域の皆様にもご支援をいただきながら、これからも歩んでまいります。今後ともよろしくお願いたします。





清掃ボランティア活動を楽しみました！



ゴミ拾いにぴったりのお天気でした

6月4日、栃木市総合運動公園で栃木市障害者施設協議会主催の恒例交流行事である清掃ボランティア（ゴミ拾い）が行われ、栃木市内にあるいくつかの福祉サービスマンが集まりました。清掃ボランティアは、2005年から始まり2019年で14回目の取り組みです。からっとした暑さの中、青空と木々に見守られながら丁寧に事業所ごとにごみを探し、ゴミ箱ではないところへ捨てられた空き缶や紙ごみは、心やさしい人たちに拾われ袋に入れて事業所のごみとして、持ち帰りました。清掃後、わらしべの家に通う仲間たちは改めて散歩に出かけ、散歩しながら3か月ぶりや9年ぶりに、公園で偶然にクラスメイトに会い、

同窓会のような雰囲気になって非常に良い光景でした。
芝生広場で、午前10時30分からの交流レクリエーション1ゲーム目に170名近い仲間が4グループに分かれて、隣の人にボールを送り、交流するボール送りを楽しみ、チームワークで健闘する姿に、惜しみない拍手が送られていました。つづく2ゲーム目として、〇×クイズが行なわれ、「地球と太陽、どちらが大きいですか」とネット検索に頼りたくなる問題からはじまり、真剣に考え、答えに悲しんだり、喜んでいました。決勝まで残ったおちゃめさんは、惜しくも優勝を逃しましたが、笑顔満開。白い歯を見せてくれました。（混む）



歩きながら、ごみを探しています



レクリエーション（ボール送り）のひとつ

第2期理事・監事決まる

6月15日（土）に、第1回評議員会ならびに第2回理事会が開催された。任期満了に伴う理事・監事の選任が議題にあり、左記のとおり承認された。

記

理事 大橋 誠（理事長）

理事 小谷 博

理事 金坂 直仁

理事 金坂 尚慶（業務執行理事）

理事 本島 一男

理事 山口 幸照

監事 片柳 洋一

監事 亀田 幸夫

（敬称略）



※任期は、令和元年6月15日～令和3年6月までの2年間



ゆーあい工房まつりに参加



ゆーあい工房まつりへいらっしゃいませ

5月19日にゆーあい工房まつりが開催され、今年は、わらしべの家の希望者全員で午前中から参加しました。まつりの会場には多くの人たちが訪れました。天気は、快晴でとてもすがすがしい風が心地よい日でした。

栃障協物産展「わくわく広場」ゆーあい工房まつり「開店時間の午前10時。北武井お囃子保存会やバンド聖紫涙（セシル）」の皆さんによるパワフルな演奏、佐々木金蔵さんによるピアノ演奏と次々に代わる音楽をBGMにお客様が立ち寄りられました。

店番の時間まで、お昼と買い物済ませなければと、ゆーあい工房のパン屋へ

行くと、混雑してしまいました。去年までは、お昼からの参加だったので、欲しいパンが売り切れになっていたりすることもありました。今年は、好きなパンをたくさん買えて大満足でした。

来年のゆーあい工房まつりが、今からとても楽しみです。（PORI）

新しい時代を迎えて

平成から希望の令和にとバトンが移り、早くも数ヶ月が過ぎました。元号が変わっても生活のなかで特に変化があったわけではありませんが、今、新しい時代を生きる僕らは、昭和に生まれ、平成に生き、これからは令和に生きられる事を幸せに感じます。

特にこの数年間は、東日本大震災をはじめ多くの災害により、たくさんの命が失われました。生きたくても生きられなかった人たちのぶんまで生きなければなりません。

これからの「令和」という元号とともに、誰もが幸せで、平和に暮らせるような穏やかな生活が続くよう願います。（範）



6月～7月の行事

27日	31日	19日	5日	1日	7月の行事予定	29日	26日	21日	17日	8日	6日	6月の行事予定
(和菓子体験)	土曜開所(半日)	嘱託医問診	誕生会(4人)	面談開始	スホーツを楽しまう	土曜開所(半日)	嘱託医問診	レクリエーション	理事交代式	(外出を楽しまう)	土曜開所 ボランティア	公園清掃

これからの行事予定

26日	19日	18日	10日	30日	28日	20日	7日	6日	31日	28日	24日	23日	3日	2日	
土曜開所 ハーベキュー大会	嘱託医問診	土曜開所(半日) スホーツを楽しまう	誕生会(2人)	健康診断	土曜開所 (外出を楽しまう)	嘱託医問診	誕生会(1人)	レクリエーション	土曜開所 (外出を楽しまう)	土曜開所	嘱託医問診	土曜開所(半日) (すいか割りの会)	誕生会(4人)	土曜開所(半日) 出張調理の会	アイスを食べる会

※月の第1金曜日は、レクリエーション、第3金曜日に、仲間の会・誕生会を、仲間の会主催で行います。

夏季休暇期間
8月10日～18日

熱中症にならない
熱中症にならない
ように気をつけて
夏を楽しんでね!!



いつも「わらしべ通信」
を読んでくれて
ありがとう!!





平成最後の土曜開所日 笑顔でストライク！



プロ顔負けのきれいなフォーム

4月20日。平日なら、4つの持ち場で生産活動をしている時間である午前9時過ぎから、食堂兼集会場で真剣に何人かでカードゲームをしたり、将棋をしたり、任天堂のゲーム機で遊んだり・・・。

平成最後の土曜開所日は、午前中わらしべの家でのんびりと過ごし、午後サンプラザボウルで交流ボウリング大会を開催というタイムスケジュール。午前中の過ごし方は、まさに決戦の前のくつろぎタイムといったところでしたが、勝敗は

第5回ボウリング大会

いかに・・・？
13時過ぎからボウリング2ゲームを楽しみました。参加者の中には腰と膝を落として手首を曲げたりひねったりせず、ひじを伸ばしてそのまま振り子のようにプロボウラー顔負けのきれいなフォームで投げ込む仲間がいたり、前かがみになって、両手で力強くボールを転がしてストライク、スペアを連続する仲間や、「もう少し右：うーん左に2回戻してください」

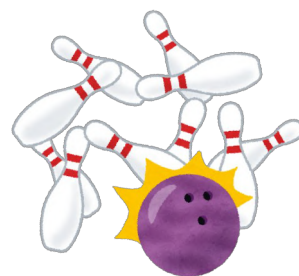


僕、がんばって投げてます！



投球前に呼吸を整えているところ

と絶妙な位置調整を職員さんに伝え、動かしてもらったゾウの鼻のようなスロップの上から転がす仲間たちもいました。点数はゲームの終盤になって、点差に開きが出ましたが点数に関係なく、みんなオンリーワンの投球をし、はじける笑顔を見せてくれた26人でした。次回のボウリング大会は、来年2月開催予定です。（混む）





この春も桜と一緒に



今年のお花見は、4月11日（木）に行なわれました。花見の前日は、4月だというのに雪が降り少し心配でした。しかし、朝になったら、ピカピカのとても良い天気よかったです。朝に思いましたが、それもつかの間。晴天で、お昼を食べて出かける頃には雲って冷たい空気も流れ、ちよっぴり寒いお花見の会となりました。でも、仲間は広場でレクリエーションを楽しみました。おなじみの「ロープ送り」、「ボール送り」、そして昨年はじめて行った「おたまりレー」の3つのゲームに参加しました。のんびりやさんやせかせかさん、面白いことを言って笑わせてくれる仲間など個性豊かな仲間たちが気持ちを一瞬にして一緒に同じことをやる、ということがまるでひとつのチームのようでした。いろんな仲間がいてみんなその場所に居て楽しく過ごせる場所があった、と僕は思いました。



ちよっぴり肌寒いお天気でした

レクリエーションが終わって桜の木の下に大きなビニールシートを広げ、みんなで桜を見ながらおやつを食べようかなと思ったら施設長さんから、「寒いので、風邪をひいたら大変なので帰ってからわらしべでおやつを食べましょう」とお話があり、わらしべの家で、お菓子を食べました。飲み物を飲み雑談しながらゆっくりと過ごせました。いつもなら、おやつを食べ終わったら桜の下で野球・サッカー・バドミントン・芝すべり・散歩・シャボン玉・ビニールシートの上でのんびり休憩、携帯電話で記念撮影やおしゃべりなどで過ごすのですが、今年に残念でした。仲間たちがひとりも欠けることのないようお願いしながら、来年のお花見を楽しみに待つことにいたします。 (PORI)



ボール送りをしているところ



バトンならぬピンポン玉を上手に受け渡せるかな！？



お玉りレーに挑戦中

平成30年度 年間皆勤賞 6名受賞!!



表彰状を手に微笑んでいます。やったね！

年度末と1週間の仕事を終え、集まる仲間たち。3月29日（金）夕方、「平成30年度年間皆勤賞表彰式」がわらしべの家第1作業所にある食堂兼集会場で行なわれました。在籍する36名の仲間の中から体調管理に努め、それぞれの持ち場で2018年4月から2019年3月までの作業日251日を1日も休まず作業をした仲間たちの名前が呼ばれ、金坂施設長から表彰状と洋菓子の詰め合わせがプレゼントされました。

名前を呼ばれたのは6名。名前を呼ばれびっくりしながら笑顔になったり、「僕、1日も休んでいないんだっけ？」と微笑んだり、静かに受け取ったりとさ

まざま。表彰された人の表情からは「来年度も、作業がんばろう。体調管理を一緒にしてくれた家族にも感謝だな」という思いが感じられ、体調不良や家庭の都合で惜しくも数日間休んでしまい受賞を逃し、祝福する側にまわった人々からは「来年度は必ず！」という思いが感じられました。

更に3月中旬からは、特別支援学校を卒業した新しい仲間3名が加わり、在籍数39名になったわらしべの家。2020年3月には、何名が年間皆勤賞を取られるでしょうか？（混む）



はじける笑顔！



1年間、お疲れさまです

おめでとう!!

表彰状

あなたは、一年間休むことなく
通い、作業に取り組みました
たいへんすばらしいです
よって、ここに表します
おめでとうございます

Congratulations!!



楽しかった調理体験



包丁で野菜を切ります！

3月9日の土曜開所日は、みんなでちらし寿司を作って食べよう！という企画でした。みんなで調理したものを昼食として頂くのです。今まで、そうめん、ホットドック・コロッケパンを作ったことがありません。大人数分のちらし寿司を作るにあたり計画・準備をするのは初めてなので、お米は何合炊けばいいのかわかりませんが、材料はどれくらい用意すればいいのかなど職員さんたちでいろいろと検討して下さったことを思います。

まずは、3つのグループに分かれて、調理の下準備から職員さんに教えてもらいながら調理を始めました。仲間全員で、紙コップに生卵を割ってよく混ぜ、

ホットプレートを使い薄焼き卵を作りました。職員さんと一緒に包丁を使い、薄焼き卵を細くこまかく切り錦糸卵を作りました。包丁を握るのは初めての人もいて、手を切らないように緊張する仲間もいました。

次は具材の盛り付けです。グループごとに分かれて、職員さんと一緒に酢飯に錦糸卵・キュウリ・カニカマ・紅生姜・でんぶなどを自分がかくかく食べられるのかを考えながら盛りつけました。他にも、澄まし汁と漬物の差し入れがあり、みんなで一緒に食べました。錦糸卵は、太いのや短いのやいろんな形の錦糸卵でしたが、自分で作ると形は不格好で

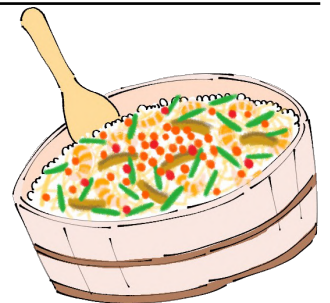


真剣に盛り付け中



いただきまーす！！

した。1人1曲自慢の歌（童謡・ポップ・演歌）を披露しました。歌い終わってもまだ時間があつたので、歌い終わって行く仲間やカラオケの練習をする仲間、室内の玩具でゲームをする仲間などそれぞれに分かれて時間の限り楽しく過ごしました。（PORI）



もとてもおいしく感じます。おいしいおいしいとほおばって食べました。

午後は、グループごとにわかれてカラオケを歌いま



桃の節句を今年も祝える幸せ



みんなカメラ見て～！

わらしべの家でも3月1日（金）午後2時30分から、仲間の会主催による「ひな祭り会」が開催されました。今年で11回目です。

最初に、あいくるしい言葉遊びで、みんなの心をつかんでいる女性が開会の言葉を言い、通信カラオケにあわせ「うれしいひなまつり」を歌い心が暖まり、「紙コップを持ってください。乾杯」という音頭を皮切りにみんな仕事のと、日常生活での出来事を話題に楽しい「おしゃべり」をしながら時間を過ごし

たあと、仲間たちは塗り絵を楽しみました。今年も、ひな壇飾りにそっくりに塗り上げたり、色鉛筆さんから「毎年、わらしべさんのために万全の体制でいるけど、2019年は色の発注と消費量が半端ないって」という言葉が聞こえてきそうならい、みんなで相談し色使いを変え真剣に塗るなど、テーブルごとに個性あふれるひな壇コレクションが完成しました。写真を撮り、黒板に張り出された塗り絵を眺める仲間たちの顔は笑顔でした。（混む）



私たちのひな壇かざり！



ひな壇めり絵、完成です





～ 1 年 間 無 事 に 過 ご せ ま す よ う に ～



鬼さん、来訪!!

2月3日は節分。わらしべの家には2月1日（金）午後には鬼さんの訪問がありました。仲間たちが食堂へ集まり始めるとどこからともなく鬼がスキップしながら「みんな元気だったかな」とお姫様も連れてやって来て玄関に居座りました。驚いた仲間たちは、テーブルごとに分かれ、順番に用意された豆を持って「鬼は外、福は内」と言いながら「鬼さん、私たちも元気に暮らしたいの」と願いながら豆を投げたり、福豆バズーカーで豆を天井に向けてテンポ良く発射し、鬼退治をしました。

鬼さんは、1年のうちにいつのまにかみんなの身体に入り込んだ弱むし・怠けむし

し・いじわるむしなどの悪いむしたちも一緒に人里から離れた場所へ帰っていききました。

席に戻り、仲間たちは「この1年間無事に、健康で過ごせるように」と願いながら豆を食べながらゆったりとした時間を過ごしました。節分をすぎたら、寒さにもお別れが近いようですね。（混む）



福豆バズーカー発射!



楽 し め た 土 曜 開 所 日 の 外 出



今日の土曜開所日は、“みんなで外を出歩こう”という日です。買いものを楽しみに行っている仲間、家族で出掛けたくてもなかなかむずかしい仲間、職員と一緒に掛けることを楽しみにしている仲間など様々ですが、3グループにわかれて出掛けてきました。

桐生方面に出掛けたグループは、イタリアンレストランでちょっと早めのランチとなり、グラタン・パスタ・ハンバーグ・ピザ、健康面を考えサラダなどを注文！スウィーツにはメロンソーダ・カフェオレ・コーヒーマーロン茶をみんなでおいしく食べました。食後は、近くの桐生動物園でライオン・サル・シカ・鳥・クモザルなどを見学。帰り道には、朝日森天満宮にて初詣。今年1年の健康や交通安全を祈願し、わらしべの家に無事帰って来られました。

太平山への初詣から宇都宮・ベルモール方面に出掛けたグループは、太平山にて初詣。それぞれのお願い事を済ませた後は、ベルモールにて生のマジックショーの観覧。素晴らしいショーに感激でした。特に傘や花束がポンポン飛び出してきた際は、仲間たちも大興奮！一際大きな歓声をあげ喜んでいました。遅めの昼食をフードコートで味噌ラーメン・てりやきバーガー・はらこ丼などをおいしく食べました。



グループごとにお出掛け



1年の健康を祈って、太平山神社で写真撮影！

栃木市：神明宮への初詣から宇都宮：アピタ方面に出掛けたグループは、ちよっと早めの昼食を餃子専門店みんみんにて済ませました。仲間のひとりには、「以前から食べたいと思ってた。有名な宇都宮餃子専門店で、食べる事が出来たのが夢の様でした」と話していました。焼き餃子・水餃子・ごはんのセットをみんなで注文し、おなじテーブルを囲んでプロが焼いたアツアツの餃子の味は格別で、とてもおいしく食べられました。次は揚げ餃子も食べたいです。昼食の後は、本屋でイケメンが表紙を飾っているテレビ雑誌を2名の仲間が購入。困

暮・将棋・マンガコーナーに立ち寄り、ちよっと疲れたとフードコートでクリームソーダにチョコリートパフェ、自販機のお茶で十分、缶コーヒーが飲みたいとリクエストは様々でもすべてを叶えてくれるショッピングモールはとても便利で私たちの心強い味方です。もう少し時間があれば100円ショップでいいものがあれば買い物したい仲間もいたようですが、ゲームセンターで太鼓の達人などで遊び仲間やお客さんの華麗なるバチさばきに感心していたらあっという間に時間切れ。外に出ると初雪がひらひらと舞っていましたが、身も心も満腹のせいか寒さなど感じませんでした。施設へ戻るとみんなもニコニコ顔で元気に帰ってきました。きっと、満足だったと思います。（P ORU）



神明宮神社で記念写真！



おいしそう！餃子定食



定食を笑顔で食べる仲間たち



益子焼 ・ 絵付け体験



みんなで説明に聞き入っていますよ！

2月の土曜開所日は、益子町で盛んに行われている益子焼に絵付け体験をしよう！ということのでみんな益子方面に行ってきました。
教室は以前もお世話になった小峰窯さんです。グループごとにわかれて陶芸の先生から注意点やチョークの使い方、塗ったところを指でぼかすと色の変化が出てくるなどの説明を受けました。各テーブルに、カラフルチョークと直径15cmほどの丸い皿が用意され「パステル絵付け体験」が始まりました。それぞれに前日までに用意しておいた絵を見ながら

お皿に自由に絵を描きました。紙に下書きをしたようには描けませんでしたが：あとは、2カ月前の焼きあがりを楽しみに待つだけです。
陶芸体験の後は、3グループにわかれての自由行動です。壬生方面の道の駅で昼食を摂り、お土産を購入したグループ。益子の道の駅で買い物やお土産を購入し、真岡市のファミリーストランで昼食を摂ったグループ。小山方面のファミリーストランで昼食を摂り、いちごの里へ移動し、小動物との触れ合いコーナーにて動物たちをながめながらアイスクリームを食べたグループ。それぞれに楽しめたようで、楽しい時間は文字通り



さあ、創作活動の始まりはじまり～！



お皿にきれいな花の絵を描いて完成です



外出に笑顔の仲間たち

“あっ”という間に過ぎ、わらしべの家に戻る時間となったのでした。(POOR)



みんなでお餅をつきました！



餅つき。べったんべったん!!

2019年1月19日、今年はじめの余暇活動は餅つきでした。2018年に続いて2度目です。

この日も蒸しあがったもち米を臼に移し、体重をかけて臼の周りを回りながら杵でこねてから、持ち上げた杵を自然に落とす様なイメージで、べったんべったんとつく音が、食堂に響きました。お餅は、室町時代に茶道の発達と共に茶道菓子としても用いられました。現在でも昔からの名残で正月や節句、季節の変わり目に餅を食べる習慣があり、縁起の良い食べ物として伝えられています。

今回は、3升用の臼で2回、6升のもち米を仲間たちや職員さんたちみんな

ついて餅にしました。ついた餅をみんなからお母さんと慕われている女性支援員が餅とり粉まみれになりながら、白い餅を純白の餅へとお化粧させ、命を与えているようにした。つきたての餅を丸めたのは、順番に呼ばれた仲間たち。仲間は支援員の質問に「親戚の人が機械でついていることは知っていたが、生で見るのは初めて」と答えていました。

1月21日月曜日夕方みんなの手の中には、それぞれに純白のお餅が大切そうにありました。節分まで2週間。季節はめぐっていきます。(混む)



ニコニコ笑顔で餅をつく仲間

できたてのお餅は、熱々でした



お餅!!



餅を丸めながら取りかわける仲間たち



新年の抱負の発表に思ったこと



「僕の目標は」と語り始める仲間

新たに2019年を迎えました。短いような長いような年末年始休みがあつという間に終わり、1月4日の仕事初めとなりました。仲間たちが元氣よく出勤し「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします」と新年の挨拶を交わしていました。

14時45分から食堂で、仲間の会主催の恒例行事である「みかんを食べながら、新年の抱負を発表する会」が開催されました。今回の司会進行は3名の仲間と施設長の4人で進めてくれました。はじめに「お正月」の歌をカラオケに合わせてみんなで歌いました。3グループにわかれ今年の抱負を仲間たちが前に一列に並

んで、1人ずつ発表しました。

今年の抱負を一部紹介すると『みんなとなかよく、仲間の会の副会長頑張ります、よろしくお願ひします』、『お仕事頑張る』、『元氣でいる』、『スポンジの仕事頑張りたいと思います』、『ボールペンの仕事を頑張ります』と仕事や普段思っていることを目標にあげている仲間が目立ちました。全員の仲間たちの発表が終わった後は、急遽職員たちも抱負を発表しました。「あけましておめでとうございます。今年も1年間お仕事や行事を楽しみましょう。今年もよろしくお願ひします」と挨拶しました。

施設長から「産休に入っている職員さ



抱負を言い終わったおふたりさん

んが戻るまでの間、今月末からかわりの職員さんに来てもらうことになりました。お仕事や行事、土曜開所日にも参加してくれることになっていきますので、みなさん楽しみに待っていてくださいね」というお知らせがありました。

毎年のことなので、かわり映えのないいつもどおりの新年の抱負の発表会：と思うのですが、2018年は災害が多くあったせいか1人の顔も欠けることなくみんな揃って新しい年を迎えられたことに、なんでもない普段の日常の積み重ねがどれほど大切なものであるのか、再認識した新年の行事となりました。（P.O.Rー）



上手に発表が出来ましたね



楽しいクリスマス会



クリスマス会、楽しんでま〜す

2018年12月25日午後、わらしべの家でクリスマス会が開かれました。最初に「赤鼻のトナカイ」を合唱。盛大に乾杯したあと、ビンゴカードが配られ、多くの仲間が「一緒に夢見よう」とカードに語りかけてカードも要望にこたえるかのように、次々に読み上げられる数字をすんなり並べてみたり。その一方で、なかなか縦・横・斜めの5つの数字がそろわず叫べない仲間もいましたが、大熱狂。最後まで楽しんでる様子でした。

楽しみはジェスチャーゲームにうつり、問題を出す人と答える人を一問ずつ募集し、物まねを披露する人はライオン・おさる・ゴリラなどの動物やサツ

カー・テニス・ゴルフなどのスポーツ、お寿司屋さん・ケーキ屋さんなどのジェスチャーをわかりやすく伝えようと考え、答える人は動きから観察し、正解するとふたたび喜び絆を深めていました。

プレゼント交換では、みんなで大きな円形を作り、12月上旬に100円ショップで購入した誰にあたって喜びそうな品物を右側にいる仲間に戻していきまし。もらったプレゼントに納得していたり、少し納得していませんでしたが、プレゼントを大事そうに抱える仲間のこやかな笑顔が、印象的でした。



笑顔の記念撮影

そこに「仕事がしたい」と毎週月曜日〜金曜日の週5日、勤勉に働いている仲間たちの労をねぎらおうとサンタさんがやってきて、土曜開所日で作った松ぼっくりのクリスマスツリーをもらい、あつたかい気持ちになり、わらしべの家に来たサンタさんを北欧に見送るため、「あわてんぼうのサンタクロース」を歌った仲間たちは午後4時過ぎ、サンタさんからもらえたプレゼントを大切に抱え「さよなら、お疲れ様でした」といいながら、帰宅しました。その表情と声は、3日後の仕事納めにむけて、気持ちのシフトを一段高いところへ入れているようでした。（混む）



ビンゴでプレゼントがあたっちゃった！



「一生懸命頑張りますので、これからもよろしくお祈りします」

みなさん、こんにちは。体調など崩さず、毎日すこやかに過ごしてでしょうか？年に1回行っているおなじみの仲間の会・会長にインタビューのコーナーです。
30年度は仲間の会の選挙があり、会長として初当選されたAさん（52）にお話をお聞きしました！

Q1. 昨年の10月から会長になって半年が経ちましたが、どんな半年でしたか。

・最初は、すごく緊張した。今でも、皆の前に立つと緊張する。良い体験になっている。

Q2. 会長になって、心に残ったことやよかったことは、ありますか？

・（自分の話を聞いて）みんなが手をあげてくれていると思うことがうれしくなった」

Q3. 今年度はどんな会にしたいでしょうか。

・みんなが話し合いに参加し発言しやすくなるように、他の役員たちとも意見を出し合っていきたい。

Q4. 仲間たちにメッセージをお願いします

・一生懸命頑張りますので、これからもよろしくお祈りします。



令和元年度年間計画

4月	花見会 ※
5月	ゆーあい工房まつりへ参加しよう ※
6月	レクリエーション
7月	七夕
8月	アイスを食べる会
9月	レクリエーション
10月	スポーツ交流会 ※
11月	イベント ※
12月	クリスマス会 ※
1月	新年の抱負を発表する会 (みかんを食べながら)
2月	節分豆まき
3月	ひな祭り

※印はわらしべの里の行事。その月に行事がある時は、「仲間の会」のレクリエーションはあません。



仲間の会の
会議風景だね

社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第49号(通巻63号)
発行元 社会福祉法人わらしべの里
発行責任者 大橋 誠
編集者 わらしべの家パソ工房
〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
電話 0282-27-1627
Fax 0282-27-1675

E-mail warashibenosato@cc9.ne.jp (事務所)
http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/

〜 編集後記 〜
今回の通信第49号(通巻63号)は、12月〜6月のわらしべの家の行事や土曜開所日の出来事を記事にしました。この期間に、金坂理事長の交代がありました。僕は、わらしべの家に通った。僕は、わらしべの家に通った。僕は、わらしべの家に通った。30年近くが経ちますが、金坂理事長にはこの28年間、お世話になり通しました。
当時はまだ、施設長だった金坂理事長が、お線香の仕事もいけれど、君の得意なパソコンを生かして仕事にするのもいいのではないかと考えてくれて、現在のパソ工房を作って頂きました。今では、お客様から名刺の注文が沢山あり、感謝で一杯です。ありがとうございます。
長い間お疲れ様でした。(範)

名刺・封筒・ホームページ・機関紙・カレンダーのことならパソ工房にお任せ